

アイヴィス創立 25 周年記念の会 懇親会挨拶（スピーチ原稿）

株式会社アイヴィス  
代表取締役 石和田 雄二

○ はじめに

{ 25 周年の記念日と「記念の会」について報告 }

明後日の 11 月 10 日（日）は、当社の 25 回目の創業記念日です。  
本日の午後 2 時から、  
日頃お世話になっているお客様にご来席頂き、  
「25 周年記念の会」を催し、盛会裏に終えることが出来ました。  
四半世紀を経たアイヴィスですが、  
技術も人も、若々しく生まれ変わる姿を見て頂けたかと思えます。  
準備頂いた方、受付の方、アテンド役の方、お疲れ様でした。  
記念行事でもあり、久しぶりに多くの社員に集まって貰いました。  
夜の部は、社内懇親会を兼ねています。 楽しくやりましょう。

○ 懇親会の趣旨について

{ 会社の成長は、創業ではなく、全社員 25 年間の努力の賜です。 }

創業時のメンバーは近々、勤続 25 周年、大半が 50 代の社員です。  
しかし、当時は皆若々しく、  
UNIX の基盤技術系のシステム開発や  
エンジニアリング系のシステム開発では最先端の技術集団でした。  
創業 25 年、会社は平成と共に成長して来ましたが、平成元年の  
社員、10 数名が今 360 名、来年度には超 400 名になる見通しです。  
平均年齢も、30 代前半になります。  
成長と若返りの 25 年、  
創業社員がいて会社の今がありますが、  
会社を支え、成長発展させてくれた主体はここにいる皆さんです。  
四半世紀の間、前向きに会社が成長を続けてこられたことは、  
社員の皆さんのお蔭であり、心から感謝する次第です。  
有難うございます。

○ 困難を超えて成長してきたアイヴィス

{ 93年以來3回+今回の困難な時期、運と顧客と人材に恵まれ }

先ほどの記念の会でも触れましたが、  
この25年は日本経済の大変な時代、4度の不況に超えてきました。  
最初の20年間には、93年のバブル崩壊不況、98年の金融不況、  
02年の世界同時不況、ほぼ5年単位に不況の洗礼を受けました。  
しかし、この時期は又、ICTサービスの大きな変革期に当り、  
不況と同期を取る様にICTサービスの需要が生まれた時代です。  
当社も、創業から10年はエンジニアリングICT分野の成長期、  
少し遅れてインターネットが登場、ネット基盤やシステム再構築  
の仕事が伸び、比較的安定した20年でした。

流れが変わったのは5年前、リーマンショック後の大不況の時です。  
世界金融不況の影響が深刻化、ICTサービスからも需要が蒸発し、  
当社も、30億円を超えていた売上が26億まで落ちました。  
初めて経験する業績急落です。必死に当社の未来を模索しました。  
需要が蒸発して気づいたことは、  
自力で立直れない会社の欠陥、独創性のない専門技術、  
価格競争に巻き込まれ、仕事すら失う、市場性のない専門技術です。  
しかし、この時代こそICTの大変革期、成長の芽が溢れています。

○ 新しい可能性の芽

{ 困難な業務への挑戦が今回も未来を拓いてくれました。 }

残念ながら、当社は今、戦略的研究投資が出来ない中堅企業です。  
その為もあり、当社のSEたちは、  
時代の転換期の節々で業務を通じて先端技術を吸収、  
技術的脱皮を繰り返しながら、会社の成長発展を支えてくれました。  
今回も又、現場は困難な状況の中でそれぞれの課題に挑戦し、  
不況から抜出る下支えをしながら、未来も拓いてくれました。  
その一つが防衛省の画像ジャイロ  
IVISの創業の原点でもあるVision Systemが今漸く現実化する。  
自動走行車の制御にも応用される技術です。  
本日、業務成果3編を25周年表彰とし、後程紹介致します。

○ 25年間で嬉しかった思い出、辛かった思い出

{ 会社の信用と人材の裏に、困難を乗り越えた仕事の汗がある。 }

25年を振り返ると嬉しかったことも、辛かったことも沢山あります。両者は単独である訳でなく、嬉しいことは辛いことの裏返しです。嬉しかったことの大半は、

大変なプロジェクトが困難を乗り越えて着地が見えた時、関係者達の疲れと共に達成感と安堵が入混じった顔を見た時です。

25周年の会を機会に、会社発展への貢献度の高いプロジェクトを2部門を設定して選びました。

《先進的事業部門》の第1部門3プロジェクトは後程表彰します。

《伝統的挑戦部門》の第2部門は、過去の振り返り、

この入選プロは、当社の歴史に刻まれますが名誉だけとなります。

しかし、このプロジェクトがあって今日のアイヴィスがあることそれを踏まえて、25周年の今日、ここに顕彰をしたいと思います。

本件の詳細は、社員へは別途メール配信しましたが、

ここではプロジェクトと責任者、主要メンバーの発表に止めます。

第1席 「昭シェル 石油販売給油オフサイト管理システム」

：パイプライン制御から販売までの統合管理システムの開発」

< 開発責任者 > 芳賀 康臣

< 主要メンバー > 金子 聡、小山 紀之

{ 小橋、江成、植竹、石毛、諸見川、… }

第2席 「J E C C 地籍管理システム 開発プロジェクト

：本格的なPCによる商用アプリケーションシステムの開発」

< 開発責任者 > 成井 隆

< 主要メンバー > 金子 聡、小針 栄一、鈴木 正樹、…

第3席 「iモード プロビジョニングシステム 開発プロ

：携帯のサービス支援バックオフィス、BOS/LOG/DWH」

< 開発責任者 > 芳賀 康臣 (原山 貞夫)

< 主要メンバー > 諸見川 和史、金子 聡、小橋 輝己

{ 田中隆、玉城、荻原、石毛、倉田… }

第4席 「 サッポロビール 基幹システム再構築

：スクラッチベースの最初にして最後の超大規模一括開発」

< 開発責任者 > 小山 紀之

< 主要メンバー > 古性 和義、砂金 尚雄、米村 周治

{ 倉田、諸見川、外山、井上睦、渡辺憲・・・ }

第5席 「 A&T 医療検査\_\_血液検査システム 開発プロⅡ

：IVIS-SOL 指揮から離れ、自力開発した起死回生の BT2 開発」

< 開発責任者 > 山田 晴一

< 主要メンバー > 古性 和義、坂井 康之、千葉 智也

{ 安孫子、井上睦、小林英、高橋信、宮井、・・・ }

○ アイヴィスの新しい未来を目指して

{ 25年周年は出発点、景気回復は7年続く、躍進目指し基盤強化 }

当社が背伸びしつつ、特段の苦勞もせず今日を迎えられたのは、  
ICT サービスの変革期という時代の運に恵まれたのと  
お客様から活躍の場を作って頂いたからです  
そして、社員がその場を活用、成果に繋げてくれたからです。  
会社にとっては、しかし、  
25周年は1つの通過点であり、新たな目標への出発点です。

今は、私が経験した ICT 業界第4の変革期、モバイルクラウド、  
センサーとビッグデータ、ICT サービス成長期が始まっています。  
再び巡って来た成長チャンス、  
皆さんと共に、当社と業界の未来を拓くべく挑戦を続けたい。  
これからも、IT サービス企業としての基軸を大切に、変化に適応、  
現実に学び、新たな技術分野を拓いて行きたい。

○ おわりに

{ 社員懇親会、将来の夢を語りつつ楽しい一時をお過ごし下さい }

本日は、殆どの社員が集まった久しぶりの社員懇親会です。  
15周年、20周年にも演奏して貰った小関郁さんの  
ヴァイオリン・コンサートを用意しました。  
その後は、立食パーティです。

ささやかな宴ですが、  
思い出や未来の夢をまじえて、ご歓談をお楽しみ下さい。

(おわり)